

# シンガポールにおける新型コロナウイルス対策と外国人労働者

岡本佐智子

**抄録:**本稿は、シンガポールにおける2020年の新型コロナウイルス感染拡大期を振り返るものである。シンガポールの初期の新型コロナウイルス感染防止対策は、欧米メディアから「優等生」と評価されていた。しかし、外国人建設労働者の滞在するドミトリーで次々とクラスターが発生し、その感染封じ込めに追われることになる。高学歴化が進み、シンガポール人が就きたがらない低賃金の仕事や肉体労働は、外国人労働力頼みである。しかし、その外国人労働者の居住環境は、依然として劣悪で改善されていなかったことが露呈したのである。ウイルス感染対策のなかで移民労働者はどう扱われてきたかを報告する。

**キーワード:** 新型コロナウイルス感染, ドミトリー, 外国人労働者, クラスター

## 1. はじめに

2019年末から発生した新型コロナウイルスのパンデミックは、2021年1月現在もその変異ウイルスも含めた感染抑止対応に追われ続けている。そうしたなかで、本稿ではシンガポールにおける新型コロナウイルス感染拡大抑止と、移民労働者への感染対応を振り返っていく。

シンガポールが疫学研究をこれまで以上に重要視しはじめたのは、2003年9月から2004年5月末まで、SARS（重症急性呼吸器症候群）に翻弄されたことにある。感染者数は中国本土以外では、香港1,756人、台湾346人に次ぐ238人で、死者数も33人と、東南アジアでは最大の感染者数を記録した。そしてそれは右肩上がりだった経済に大打撃を与える。さらに2009年の豚インフルエンザでもその封じ込めに苦慮した経験がある。国民は熱帯地方ならではのデング熱をはじめとするウイルス感染への危機意識も高く、ウイルス対策は早い段階で徹底的に封じ込めることが重要であると認識している。

2020年1月23日に中国武漢からの春節休暇旅行者が、国内初の新型コロナウイルス<sup>1)</sup>感染症例に確認されると、政府は即座に省庁を越えた140人に及ぶ対策専門チーム、タスクフォース（新型コロナウイルス感染対策本部）を設置し、感染者への聞き取りと濃厚接触者の特定・隔離、治療体制を作り上げる。こうした迅速な感染防止対応はSARSの苦い経験が生かされており、空港・港、隣国マレーシア国境での出入国チェックや監視、発熱者の取り扱い、感染ルートの追跡、外出禁止（自宅待機命令）、感染者の出た建物の消毒・閉鎖、全市民への体温管理等が徹底されていく。

しかし、国内で渡航歴のない感染者が確認され、累計感染症例数33件となった2月7日には、感染警戒レベルを4段階中、上から2番目に高いオレンジに引き上げる。そしてシンガポール最大の貿易相手国であり、共同事業などの直接投資も大きく、観光客数でも最多である中国への渡航禁止を最初に決断した。<sup>2)</sup>

シンガポールは、貿易、多国籍企業、コンベンション、観光などの国際経済活動で成り立っている都市国家である。一時的とはいえ、早い段階でそれを断つという思い切った措置が取れたのは、これ

までの経済成長で蓄積してきた潤沢な資金があったからであろう。

本稿では、こうした新型コロナウイルス感染防止対策の中で、豊かな社会の下支えをしている外国人労働者の感染とその対応を追っていく。

## 2. シンガポールの新型コロナウイルス対策

シンガポールは、「ファイン」カントリーと呼ばれているように、日常の細かな事にも罰則を設けることで多民族社会の規律を維持している。新型コロナウイルス対策では「ニューノーマル」移行へ種々の法整備が敷かれ、ソーシャルディスタンスやマスク着用義務違反の初犯 300 シンガポールドル（約 23,400 円）から、感染者が隔離に従わなければ最大 1 万シンガポールドル（約 78 万円）の罰金か、最長 6 か月の収監もしくはその両方が課せられる等、その罰則は政府系メディアを使って周知させている<sup>3)</sup>。

IT 先進国のシンガポールでは、メッセージアプリ「ワッツアップ」の政府アカウントをはじめあらゆる情報メディアを使って逐次、新型コロナウイルス情報や予防喚起をわかりやすく発信し続けてきている。リー・シェンロン首相も国民に向かって、ウイルス対策の協力要請メッセージをフェイスブックやビデオ動画でたびたび発信し、その丁寧な説明は説得力があると評価されている。

新型コロナウイルスに関する情報が刻々と更新され、特に感染者の追跡調査結果はアプリだけでなく、公用語別のニュースサイトにも、何番目の感染症例者がいつ、どこで、何時から何時まで滞在したか等の詳細がリアルタイムで更新され、ウイルス接触への注意を促していった。日本では接触調査アプリはプライバシー保護の立場から登録者数増加に伸び悩んだが、シンガポールでは感染抑止は、結果として経済への影響を小さくする、という「近い将来のための投資」というレトリックで登録数が増え、活用されていった。

累計感染者数が 100 人となった 2 月末には、新型コロナウイルス抑止対策として、警察捜査員や町中に設置されていた防犯カメラを使って感染の監視や接触者追跡捜査で感染者数 2,500 人以上も突き止めたことから、国際的にもその感染防止方法は「シンガポールモデル」として評価された。特に感染拡大に歯止めがきかなくなっていた欧米の通信社は、シンガポールの初期ウイルス対策を、感染抑止の「優等生」、「他国にはまねのできない徹底ぶり」と賞賛する。世界保健機構（WHO）もシンガポールの徹底した調査と封じ込めの成果を褒め称えていた。

政府は感染抑止のため、部分的なロックダウンとして「サーキットブレーカー」を 4 月 7 日に発令し、6 月 1 日までの約 2 か月間、生活に欠かせないサービスを除いた外出制限期間とした。シンガポールではロックダウンということばを避け、株取引を一時的に停止するときの制度「サーキットブレーカー」という金融用語を使っている。これは域内の金融サービスを牽引するシンガポールならではの表現であろう。

新型コロナウイルス感染対策の初期は海外からの帰国者・帰還者と入国者（輸入）症例がほとんどであったが、ほどなくして渡航歴のない市民のカラオケや食事会、教会などの集まりでクラスターが発生していく。その市中感染者数もある程度落ち着いた 4 月になると（4 月 1 日の累計感染症例数 1,000 件）、突然国内の感染者数が激増し、東南アジア最多の累計感染者数 1 万人を突破するという事態に直面する。その感染者数を押し上げたのは外国人労働者専用のドミトリーやロッジと呼ばれる低価格の宿泊施設に滞在していた人々であった。

### 3. 外国人労働者の就労査証と滞在施設

2020年6月末現在、シンガポールの総人口568.6万人のうち永住者や留学生、長期滞在者も含めた外国籍居住者は216.26万人で総人口の38%を占める。年々増加していた外国人居住者は、前年(167.7万人)より約3万人の減少となった。これは新型コロナウイルス感染防止策による経済活動の停止と外国人の入国制限が大きく影響している。

人材開発省発表の2020年6月暫定値では、外国人就労者総数(135.18万人)も前年比で約7.6万人減少している。外国人就労査証で7割を占めるのが「ワークパーミット・パス」と呼ばれる査証で、前年比(2019年12月値は99.9万人)6万人減の94万人となった。ワークパーミット<sup>4)</sup>は、未熟練者対象の有期就労査証で、発給は4つの労働供給国に限定される。一つは、古くからシンガポールと労働交流がある「伝統的供給国」のマレーシア、二つ目は香港、マカオ、韓国、台湾の「北アジア諸国」、三つ目がインド、スリランカ、バングラデシュ、タイ、ミャンマー、フィリピンの「非伝統的供給国」、そして中国で、これら4区分以外の国の出身者はワークパーミットで雇用できない。また就労許可も産業別に分類され、サービス業ならマレーシアと北アジア諸国、製造業は非伝統的供給国、と雇用規定されている。

ワークパーミット保持者の38.5%(約35.2万人)を占める就労業種は、建設、海事、製造、プロセス産業で、査証発給タイプの中で最も多い。特に建設セクターでは慢性的な人材不足が続いており、国土再開発プロジェクトには非伝統的供給国の労働力が頼りであるが、その出身国別の雇用割合は公表されていない。しかし、保健省の新型コロナウイルス感染プレスリリースでは、4月14日から19日のみドミトリー感染者の国籍も発表している。この6日間のみでみる限りでは、42か所でのワークパーミット感染者3,351人の6割をバングラデシュ人が、3割をインド人が占めていた。

人材開発省は、2019年12月時点で、外国人建設労働者は約29万3,300人で、その他のワークパーミット保持者と、その上のランクとなる中程度の技能者対象の「Sパス」査証保持者も含めると約32万3,000人が、少なくとも43の外国人労働者専用のドミトリーに住んでいると推定していた。

ワークパーミット査証の外国人労働者の多くは、街から離れた郊外か工業地区のドミトリーや建築現場のそばの仮設宿舎に寝起きしている。これらの施設は安価な利用料に需要が高く、運営会社の採算優先から、居住環境は「劣悪」であることで知られていた。人権保護団体や地域のNGOは、ワークパーミット労働者のドミトリー施設改善を求め続け、やっと2015年に「外国人従業員ドミトリー法(Foreign Employee Dormitory Act, 2015)」が制定され、ドミトリーの運営には人材開発省のライセンスが必要となった。以降、適切な管理運営施設には人材開発省から毎年「ドミトリー賞」が表彰されている。しかし、そのお墨付きのはずのドミトリーも、新型コロナウイルス感染の拡大で、安全な自宅待機や隔離措置が取れない実態が露呈する。

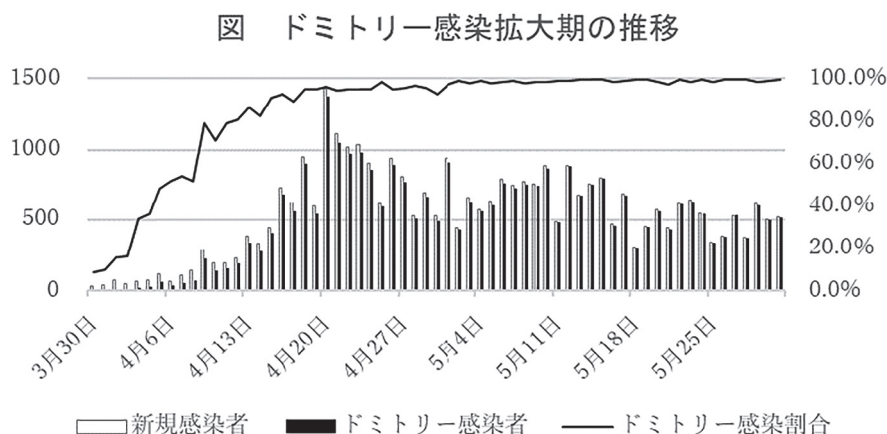
たとえば、ドミトリーのクラスター第1号で最大の感染者数を出したS11ドミトリー@ブンゴル(以下、S11と記す)は、2018年にドミトリー賞を受賞しており快適な生活が提供されているように見えたが、4月以降のクラスター発生と感染拡大でS11入居者が自宅待機命令(SHN: Stay-Home Notice)になると、メディアは、窓もエアコンもない部屋に2段ベッドが所狭しと詰め込まれ、その密室状態は雑居房よりひどいと報道している。

6月には、大手労働管理会社MESグループが運営する外国人労働者専用ドミトリーや建設現場などの4施設(Jurong Penjuru Dormitory 1&2, Jurong Stars Dormitory in Jurong West, The Leo

along Kaki Bukit Road 3；卷末資料「表」参照）が運営管理違反として摘発されている。モダンな外観からは想像もつかないほど、内部はひどく汚れた共有のトイレやシャワー、ゴミであふれた自炊調理場、そして人密度の高い共有寝室、そこにゴキブリが走り回るといふ、およそ安全で清潔、健康的な居住環境からかけ離れたものであった。

#### 4. ドミトリー滞在者の感染拡大

人材開発省は就労査証の発給を3月18日以降、ほぼ全面停止し、その後のサーキットブレーカーの2か月にわたる施行による入国規制で、新たに外国から労働者を雇用することが極めて困難になっていた。製造業では外国人労働者が7割に及んでいたため、その労働力不足対応として、4月1日から8月末まで、シンガポールで就労している外国人労働者が業種の異なる会社に転職することを認める異例の措置をとる。すでに中国人労働者を対象に、3月2日から製造とサービスセクター内で転職できる対応をとっていたが、4月1日からの施行措置はすべての産業セクターに適用される。製造業だけでなく外国人労働力に過剰に依存していた労働集約型産業では、新型コロナウイルス感染禍で人材不足が一段と深刻な事態に陥っていた。



出典：保健省各日正午発表、プレスリリースおよび *Covid-19 Situation Report*. より作成。

感染防止対策で国内の感染抑止効果が現れたころ、各地のドミトリーでクラスターが発生し、新型コロナウイルス感染者が急増する。4月9日に外国人労働者のドミトリーで228人という大量感染者数が出た衝撃もつかの間、4月20日にはドミトリーの新規感染者数だけで1,369人に上り、国内新規感染者数(1,426人)の96%となる。その後も感染者数は収まらず5月4日以降は国内感染者数の99%以上をドミトリーや建設現場宿舎の外国人労働者が占めるまでになっていく。政府タスクフォースはドミトリー対策チームを設置し、感染の「山火事」が広がらないように、入所者全員のウイルス抗体検査と治療や隔離措置で対応し、サーキットブレーカー解除後も見据えて、外国人労働者の職場復帰計画を策定していた。

ドミトリーと建設現場の簡易宿舎(以下、ドミトリーと記す)で感染拡大急増期となった4月から5月の感染者数推移を時系列でみていく(図参照)。2月にはセレーター・エアロスペース・ハイツの建築現場で発生したクラスターに5人のバングラデシュ人がリンク感染し、国内初の外国人労働者の感染症例となっていた。しかし、その時点ではドミトリー波及への危機感は弱かったといえよう。

3月28日にS11に滞在していたバングラデシュとインド国籍の外国人労働者二人がドミトリー初の新型コロナウイルス陽性者となる。その翌日にS11はクラスター指定され、隔離命令が出る。しかし、密集したドミトリーの相部屋で自室隔離するのはウイルス培養のようなもので、新規感染者はわずか1週間足らずで(4月5日)63人、4月9日には228人、その1週間後の16日には3倍近くの676人を記録し、20日には1,369人に上る。S11は、シンガポールで最も安価なドミトリーが宣伝文句で、サッカーコート8面ほど(5.8ヘクタール)の敷地に14,000人収容可能な施設である。また、ウエストライト・トーガンでもクラスターが発生し、S11に入所している13,000人とウエストライト・トーガンの6,800人の2施設約2万人がドミトリー初の隔離指定となり、5月4日まで仕事も見合わせ、外出禁止となる。

感染拡大渦中と感染拡大が一段落したドミトリーのクラスターと感染者数を巻末の表に示した。5月10日時点で、S11は2,545人、ウエストライト・トーガンは405名の累計感染者数だったが、6月25日にはそれぞれ2,774人、600人で、ほぼ感染収束に至っている。

5月末で2番目に多い感染者数を出すことになるツアスビュードミトリー(16,800人収容可)では、5月4日に1,000件以上の症例数が確認されている。他のドミトリーでも同時多発的にクラスターが発生していく。収容定員25,000人のスンゲイテンガロッジや、9,200人収容のツアスサウス・ドミトリー、といった規模の大きいドミトリーだけでなく、中小規模のドミトリーでも感染は広がっていった。一部屋に最大26人分のベッド設置で1,270人を収容するフレッドドミトリーでは、6月25日現在、累計感染者数506人と高い感染率であることから、規模の大小にかかわらず、感染は人密度に比例していることがわかる。

一方、市中感染では、4月2日にリトルインディアのムスタファセンター<sup>5)</sup>がクラスターに指定され営業停止となる。同センターは大型複合ショッピングセンターで、インド製品やハラール食など宗教に関連した商品が安価に揃うことから、南アジアの人々やインド系居住者に人気のスポットである。そのためドミトリー滞在者の多くの外国人労働者が仕事終わりや休日にムスタファセンターを訪れており、感染が他の労働現場や宿舎に広がったことが追跡調査から明らかになっている。

ドミトリーの隔離は4月23日時点で25施設に上り、5月10日現在で合計69か所のドミトリーや建設現場等がクラスター指定され、ドミトリーの累計感染者数は20,961人、ドミトリー以外に居住するワークパーミット保持者の累計感染者数は466人で、ワークパーミットの外国人労働者だけで国内感染者総数の96%となる。

## 5. 外国人建設労働者の感染拡大抑止

4月20日、外国人の建設労働者間で新型コロナウイルス感染が急拡大していることを受けて、建設業に従事している外国人労働者約18万人(ワークパーミットとSパス所持者)に5月5日まで2週間の外出禁止通告(SHN)を命じる。この18万人の建設労働者の多くは、工場を改修した宿舎、建設現場の仮住居、ショップハウス(民間住宅)などに滞在している。このうち健康であることが確認された7,000人は軍の駐屯地、洋上ホテル、体育館などの代替施設に移され感染防止期間とした。建設関連のSパス所持者約2万7,000人の多くは、HDBフラット(公営高層住宅)に住んでおり、家族を伴っている者も少なくないが、SHNが要請された。

感染者数の急増に対応するため、航空ショー会場で知られるチャンギ・エキシビジョンセンターが

わずか3週間で、2,700人の新型コロナウイルス感染者の軽症者を収容できる隔離施設（床面積3万3,000平方メートル）に改造され、4月25日には、ドミトリーから50人を受け入れている。

外国人労働者専用ドミトリーの隔離およびSHNは、自室の外に出ることが禁止され、感染が確認されていないほかの階層や棟、敷地に出ることも居住者同士の交流も制限された。

ただし、ウイルス検査で健康だった約1万人のエッセンシャルワーカーは、政府が用意したドミトリー外の宿泊施設に分散移動して業務に就く。また、建設工事ではサーキットブレーカーで、多くのプロジェクトが停止されていたが、下水道トンネル工事など緊急性のある工事は再開する必要が出てきたため、外国人労働者の健康状態を詳細に管理しながらの業務となった。

なお、隔離期間中は外国人材雇用法（Employment of Foreign Manpower Act）に基づき労働者に賃金保証を行い、宗教に配慮した3度の食事も提供された。

ドミトリーの外国人感染者への手厚い医療支援や給付金などに、国民から疑問の声があがると、ジョセフィン・テオ人材開発相は「シンガポール国民でなくても、シンガポールの経済を支えてくれるのだから、十分な医療を施すのは当然」と発言している。同時に、将来の感染防止としてドミトリーを快適にする改善計画を発表している。

政府タスクフォースの計画通り2020年8月中旬にはドミトリーの一掃を完了させると、人材開発省はドミトリーの全居住者に新型コロナウイルス検査をし、陽性反応が出た労働者の待機・隔離期間を終え、8月下旬には安全宣言を出している。

以降、ドミトリーに住む外国人労働者は2週間に1回の頻度でPCR検査を行い、陽性反応が出た者、感染者と濃厚接触があった者は職場復帰を取り消す厳しい予防策をとっている。感染者との接触を追跡するアプリ「トレストックゲザー」をスマホや携帯電話から削除した者、検査を回避した者も職場復帰を取り消し、ドミトリーにおける感染の第2波を徹底予防している。また、勤務する産業セクターが同じ労働者を同一の居住区に住まわせる措置をとり、他部門の産業が感染で停滞しない対応もとっている。こうした措置は人権問題であると批判の声もあがっているが、ドミトリーの感染封じ込めに成功したことで、国民の安全を優先させた恰好になっている。

2021年1月31日現在、シンガポールの新型コロナウイルス累計感染者数は輸入感染症例数がいくぶん増えて59,536人である。このうちドミトリー関連の累計感染者数は54,508人で、ピーク時は全体の99%であったが91.6%に縮小し、前年10月以降のドミトリー感染者数は限りなくゼロに近い。そして累計死亡者数は前年11月28日値の29人を維持し続けている。シンガポールの新型コロナウイルス感染死亡率が極めて低いのは、医療水準が高いこともあるが、感染者数の多くがワークパーミットの20代、30代の若い外国人労働者であったため、軽症者や無症状者が多かったからではないかと見られている。

## 6. 外国人労働者の環境改善

4月以降、外国人労働者ドミトリーで多数の新型コロナウイルス感染者が発生し、感染者数の9割強を占めるようになると、政治コメンテーターや知識人が外国人労働力依存の労働市場を縮小させるべきだという発言が出てくる。これは2000年代後半以降、外国人労働者の流入増で、なにか問題が起こるたびに湧き上がる議論である。そして、恒例の業界団体が反対の声をあげる構図である。

新型コロナウイルスの外国人労働者感染拡大問題でも、5月に政府が外国人労働者の削減を示唆す

ると、インド人商工会議所、マレー人商工会、中華総商會が共同声明を出し、「シンガポールの労働力は限られており、移民労働者がいなければ特定の産業分野の競争力を失ってしまう。移民労働者が低賃金の職に就いているからこそ、多数の国民がPMET（専門職・部長級管理職・エグゼクティブ・技術者）職に就ける」と抗議している。建設業だけでなく製造業、プロセス（石油・石油化学・薬品）産業、海事（造船・港湾）に関する産業協会も、外国人労働者を削減すれば、シンガポールの経済発展はないと反論している。

6月末、人材開発省はドミトリーに住む外国人労働者が職場復帰する条件として、労働者自身、雇業者、ドミトリー運営者、各自がウイルス感染防止策を順守することとした。

ドミトリー管理運営者は労働者の出入りを監視し、異なる棟や階層での交流を防止するための障害物設置、毎日の健康状態チェック、隔離施設整備が義務づけられ、サーキットブレーカー解除後の第1段階では、労働者は仕事以外の外出はできず、休日も外出できなかった。解除後の第2段階では、休日を分散方式とし、移動は専用の輸送手段を使うことが規定された。労働者の現場への輸送は公共交通機関が利用できないため、トラックやバンの荷台を使う際には、一人当たりの床面積を0.496平方メートル以上とし、輸送中はマスク着用で会話禁止という規制で、引き続き、労働者は健康状態と所在地、携帯電話番号を人材開発省のアプリに通知し、接触者追跡を可能にするアプリ「トレーストゥゲザー」をダウンロードしなければならない。

ドミトリーは相部屋で、多数の労働者が入居する密空間であったため、新型コロナ感染爆発したことへの反省から、政府はドミトリーの改造に乗り出していく。

その一歩として、2020年度中にベッド数6万台の仮設ドミトリーを建設する。居住スペースを広くし、人密度を下げ、衛生観念の向上、人同士の距離を確保する意識向上も図り、現在も軍駐屯地などの仮宿舎にいる労働者をドミトリーに帰還させる計画である。

仮設ドミトリーは耐用2,3年のプレハブ式で、3か月で2万5,000人の収容を見込んでいる。そして、元校舎や空き工場、使われていない国有施設に2万5,000人、建設現場に1万人収容できる仮施設として整備することにした。

このプレハブ施設は恒久的ドミトリーのモデルとするため、これまでのメガ収容の「兵舎スタイル」仕様とは大きく異なり、労働者一人当たりの最小居住面積を増やし、トイレも15人程度の共有から最大5人の共有にし、シャワーも9人から5人の共有に減らし、1室に置くベッドは1段式で最多10台までとした。さらに、ベッド間は1メートルの距離をおけるように人同士の距離を保つ基準を設けている。また次世代のドミトリーとして、小さな部屋と専用の浴室・洗面、トイレを備えた「アパートスタイル」の施設計画を進めるという。

今までの2段ベッドで、1室12人から20人利用だったドミトリーの「常識」と比べると生活空間も快適になる。この新基準を満たしたドミトリーを今後2年以内に11棟建設し、既存のドミトリーの改修も含めて6万人の外国人労働者を受け入れられるようにしている。

2016年の都市再開発庁（URA）の外国人労働者ドミトリーのガイドラインでは、労働者一人当たりの最小居住スペースは4.5平方メートルで、一般的な駐車場（2.4m×4.8mで11.52平方メートル）の半分以下に当たる。これに従ってシンガポール最大のドミトリー、スンゲイテンガ・ロッジ（ベッド数25,000床）や、2016年に開所したツアスビュー・ドミトリー（ベッド数16,800床）は次世代の外国人労働者専用ドミトリーとして運営してきた。賃料月額250から300シンガポールドルで、

敷地内にはコンビニ、専用調理エリア、ランドリーや送金などの金融サービスセンター、屋外スポーツゲームコート、ジムなどのレクリエーション施設も備えられている。しかし、個室の密空間では感染を防げないことから、改修に入ることになった。ところが、アパートスタイルのような寮を運営するにはコストがかかり、採算がとれないばかりか、より高い賃料を支払うことになる企業にとっても負担が大きい。ドミトリーの需要は、主に建設業界であることから、今後の開発・再開プロジェクトにおける建設部門の労働者雇用支援が必要になる。

また、ドミトリーには、バングラデシュ、インド、中国、ミャンマーなどさまざまな国の労働者が入居することから、住みやすい空間には、社会的、文化的側面などの問題も考慮する必要がある。

## 7. おわりに

外国人労働者専用の宿泊施設で次々とクラスターが発生したが、国民は彼らが約3か月隔離されている間に、日常生活や経済に欠かせない人々であることを再確認している。

外国人労働者のドミトリーは、一般市民が立ち寄ることもないし、普段は視界にない。コロナウイルス感染拡大が起こる前の1月には、住宅地に隣接した土地に、外国人ドミトリー建設案が発表されただけで、住民から反対の声が上がっていた。建国以来、多民族社会、移民受入れ歓迎を謳っているシンガポールではあるが、非熟練の一時滞在者である外国人労働者とは住み分けること、そして彼らを管理することが、安泰と考えられている。それでも、外国人労働者のドミトリーで感染者が増加すると、すぐにベンガル語やヒンドゥ語のボランティアがテレワーク通訳を買って出たり、ハラルの食事提供やラマダン明けの食料支援に宗教団体や企業、個人が次々と申し出たりしている。政府が、飲食物は十分あるからとその慈善行為や飲食提供を断るほどであった。

新型コロナウイルスによる経済の先行き不安はどの国も同様であるが、国民を団結させて立ち上がらせるのは国家リーダーの存在が大きい。シンガポールのリー・シェンロン首相は、絶妙なタイミングで国民に向かってメッセージを発信している。パンデミック情報で国民がトイレトペーパーや保存食品の買い占め行動をとると、すぐに、食品も日用品も備蓄は十分あるとビデオメッセージで伝え、パニックを収めている。6月1日のサーキットブレーカー解除では、自身のフェイスブックで「新型コロナウイルスへの対応は短距離レースではなく、マラソンのようなものだ。ワクチンが開発されても、以前の状況には戻らない」と論じ、長期の「ウィズ・コロナ」時代に踏み出す覚悟を求めている。

恒例の新年メッセージでは、「シンガポールは55年前の独立以来、最も深刻な景気下降を経験し、まだ苦境を脱していないが、回復の兆候が見えている」「回復はパンデミック以前の水準には当分戻らない見通しだ」と語り、ウイルス感染対策への協力と、経済の停滞が長引く間に、中核的シンガポール社員養成の強化を企業に求め、国民がキャリアスキルを磨くよう、その支援策を拡大している。

政府は新型コロナウイルス対策として、2020年度は5回も予算を編成し直し、過去の政権が蓄積した剰余金を引き出すなど総額1,000億シンガポールドル（約7兆8,200億円）近くの予算を組み、労働者の失職と企業破たんを防いでいる。

新型コロナウイルス感染の対応でシンガポールが傑出していたのは、こうした国の適応力ある制度やリーダーに対する国民の信頼の強さであろう。4月25日には第二の国家とさえ言われる愛唱歌「Home」を全国の家庭が窓を開けて一斉に歌い、医療関係者や外国人労働者に感謝の意を表わした。新型コロナウイルス感染拡大は、社会の深層にある問題や、先送りしてきた課題を突きつけているが、



シンガポールでは失いかけていた「みんなで」立ち向かうという大切なことを再確認させている。

## 注

- 1) 保健省は2020年1月23日に確認された中国湖北省武漢市からの訪星旅行者の輸入感染症例名は「新しいウイルス」と発表している。この時点ではウイルスに名前がなく、同日武漢がロックダウンしたことからメディア報道は「武漢ウイルス」と呼んでいた。2月11日にWHOが「新型コロナウイルス」感染症と発表後、政府メディアは2月13日からその「COVID-19」名で統一報道するようになる。
- 2) 中国湖北省からの入国規制を1月29日に開始し、2月1日には中国全体に拡大している。しかし、関係省庁タスクフォースは、ウイルスの流行下でも重要な公務やビジネスを目的とした短期出張者の入国を認める「相互グリーンレーン (RGL)」を設け、2020年6月には、中国本土の一部地域を対象にRGLを実施し、中国との往来を真っ先に復活させている。欧米メディアは「中国マネーが大事」と批判的な声もあったが、感染の輸入リスク管理は厳格で、渡航者の水際措置を定期的に見直している。2021年1月末現在、全渡航者はシンガポール到着時にPCR検査を受け、14日間のSHN (stay-home notice or isolated : 外出禁止または隔離) 措置も継続している。
- 3) 2021年1月25日時点累計で、SHN308,442件、QO (検疫命令) 268,385件が出ている。このうちSHN違反で367件、検疫命令違反が130件あった。2020年7月、保健省の4回にわたる自宅検疫命令に従わなかったシンガポール人に3か月の刑が言い渡されている。同年11月20日には、SHN違反で移民労働者の就労査証 (ワークパミット3人、Sパス1人) 4件を取り消している。うちSパスのシンガポール永住者は永住権を失い、SHNに違反したことから、シンガポールの再入国禁止の処置が執られている。
- 4) シンガポールの外国人就労査証「ワークパス (work pass)」は8種あるが、多くは「ワークパーミット (work permit)」と「S pass」, 「エンプロイメント・パス (employment pass)」で占められる。ワークパーミットはいわゆるブルーカラー職に就く外国人労働者を対象とし、就労滞り期間に制限があり、家族帯同はできない。各査証の最低賃金要件は何度も改訂され引き上げられてきている。エンプロイメント・パスはいわゆる高度人材で、専門職や管理職に就く者を対象とする。2020年5月には月額固定給3,900シンガポールドル (約30万円) 以上に引き上げられたばかりであるが、2021年度新規採用者は4,500シンガポールドル (約35万円) 以上となり、金融セクターは5,000ドル (約39万円) 以上で、年齢や経験に応じた査証審査がある。日本人駐在員の多くはこのエンプロイメント・パスを取得している。「S Pass (Sパス)」は、現地採用の日本人に多く発給されているが、中程度の技能を備えており、月額固定給は2020年1月に2,400ドル (約18万7,000円) に引き上げられ、さらに2021年は2,500ドル (19万5,000円) 以上に改訂され、一般職または技術職や作業職に就く人材を対象としている。
- 5) ムスタファセンター (Mustafa Centre) は、シンガポールのリトルインディア地区にあり、24時間営業の大型複合ショッピングセンターで、インド製の商品も豊富で安価であることから、インド系住民だけでなく観光客の買い物の穴場としても知られる。南アジアからの外国人労働者にとっては、母国の衣食、娯楽用品などすべてが容易に入手できることから、休日のたまり場となっている。クラスター発生と同時に一斉消毒が行われ、クラスター関連の感染者数がほぼ収まった

2020年5月6日からはスーパーマーケット部分のみ営業再開を許可される。しかし、入場制限を敷き、一度に入店できる客は325人で、現在も客は入店時にQRコードをスキャンして個人情報を提供し、感染接触追跡に協力しなければならない。

## 文献

- Channel News Asia, 2020, “A timeline: Singapore’s biggest COVID-19 cluster at S11 dormitory closes,” (Retrieved April 6, 2020, <https://www.channelnewsasia.com/news/singapore/covid-19-singapore-biggest-cluster-s11-dormitory-closes-13003362>).
- Channel News Asia, 2020, “COVID-19: Cases at Dormitories, Construction Site and Other Linked Clusters,” (Retrieved May 5 to December 31, 2020, [https://infographics.channelnewsasia.com/covid-19/singapore-map.html?cid=covid19-main-singaporemap\\_desktop-banner](https://infographics.channelnewsasia.com/covid-19/singapore-map.html?cid=covid19-main-singaporemap_desktop-banner)).
- Ministry of Health, 2020-2021, “Covid-19 Situation Report,” (Retrieved April 10, 2020 to January 31, 2021, <https://covidsitrep.moh.gov.sg/>).
- Ministry of Health, 2020-2021, Press Releases, (Retrieved from March 28, 2020 to January 31, 2021, <https://moh.gov.sg/docs/librariesprovider5/pressroom/press-releases/>).
- Ministry of Manpower, 2016, *A Guide for Foreign Workers, Panduan untuk Pekerja Asing*, Singapore.
- Ministry of Manpower, 2020, “Foreign workforce numbers,” (Retrieved January 15, 2021, <https://www.mom.gov.sg/documents-and-publications/foreign-workforce-numbers>).
- Straits Times, 2020, “Coronavirus cases in Singapore: What we know so far,” (Retrieved February 6, 2020, <https://www.straitstimes.com/multimedia/graphics/2020/02/spore-virus-cases/index.html?shell>).
- Smart Touch Technology Pte. Ltd., 2020, “Top 10 Popular Foreign Worker Dormitory Provider in Singapore,” (Retrieved January 15, 2021, <http://www.smarttouch.com.sg/dormitory-provider-singapore/>).
- Strategy Group in the Prime Minister’s Office, 2020, *Population in Brief 2020*, Singapore.
- Urban Redevelopment Authority, 2020, “Revised Guidelines for Temporary Workers’ Dormitories within Industrial or Warehouse Development,” (Retrieved September 19, 2016, <https://www.ura.gov.sg/Corporate/Guidelines/Circulars/dc16-14>).

## 【資料】

表 ドミトリのクラスターと感染者数

単位：人

2020年5月10日現在、感染累計数20,916人			2020年6月25日現在、感染累計数40,315人					
1	S11 Dormitory @ Punggol	2,545	1	S11 Dormitory @ Punggol	2,774	70	200A Tuas South Boulevard71	71
2	Tuas View Dormitory	1,219	2	Sungei Tengah Lodge	2,070	71	8 Martin Place *	70
3	Sungei Tengah Lodge	1,094	3	Jurong Penjuru dormitory	1,819	72	40 Tuas View Square	67
4	Jurong Penjuru dormitory	581	4	Cassia @ Penjuru	1,475	73	2 Kampong Ampat	54
5	Mandai Lodge I	468	5	Tuas View Dormitory	1,410	74	145 Tuas View Square	50
6	Kranji Lodge I	451	6	CDPL Tuas Dormitory	1,398	75	2 Perumal Road *	48
7	Changi Lodge II	436	7	Tuas South Dormitory	1,118	76	36 Woodlands Industrial Park E1**	47
8	Hulett Dormitory	430	8	Avery Lodge dormitory	1,034	77	1A Pioneer Sector Walk	46
9	Westlite Mandai	405	9	Kian Teck Dormitory	728	78	50 Tech Park Crescent	43
10	North Coast Lodge	386	10	SCM Tuas Lodge	658	79	8 Tuas South Lane	41
11	Seatown Dormitory	386	11	Westlite Mandai	631	80	Westlite Juniper (閉鎖)	41
12	Cochrane Lodge II	368	12	Westlite Toh Guan Dormitory	600	81	Space @ Tuas Apartment (閉鎖)	40
13	Westlite Toh Guan Dormitory	358	13	Homestay Lodge	590	82	38 Tuas View Square	39
14	Woodlands Lodge I	342	14	North Coast Lodge	590	83	113 Tuas View Walk 1	35
15	Kian Teck Dormitory	307	15	Kranji Lodge I	584	84	NUH renovation site (閉鎖)*	30
16	CDPL Tuas Dormitory	305	16	Toh Guan Dormitory	558	85	6 Tuas View Square	29
17	PPT Lodge 1A	305	17	Alaunia Lodge	550	86	65 & 67 Tuas View Walk 2	29
18	Avery Lodge dormitory	300	18	The Leo dormitory	543	87	9B Tech Park Crescent	27
19	Tuas South Dormitory	286	19	Changi Lodge II	516	88	35 Kaki Bukit Place	25
20	Homestay Lodge	278	20	Mandai Lodge I	516	89	115 Tuas View Walk 1	25
21	Cochrane Lodge I	265	21	Hulett Dormitory	506	90	19A Tech Park Crescent	24
22	Cassia @ Penjuru	232	22	Shaw Lodge	503	91	Potong Pasir Avenue 1	23
23	Woodlands Lodge II	226	23	Seatown Dormitory	482	92	214 Tagore Lane	23
24	31 Sungei Kadut Avenue	214	24	Acacia Lodge	479	93	10 Kwong Min Road22	22
25	10 Shaw Road	209	25	PPT Lodge 1A	466	94	28 Kian Teck Road	17
26	Shaw Lodge	205	26	Westlite Woodlands	446	95	Citiwall (閉鎖)**	17
27	SSKBJV Dormitory	196	27	Cochrane Lodge II	425	96	781 Woodlands Avenue 9	16
28	SJ Dormitory	195	28	Woodlands Lodge I	405	97	Tuas South Apartments	15
29	Toh Guan Dormitory	187	29	Woodlands Dormitory	385	98	121 Tuas View Walk 1	15
30	Alaunia Lodge	184	30	ASPRI Westlite-Papan	365	99	40 Kaki Bukit Industrial Terrace	13
31	21B Senoko Loop	177	31	Cochrane Lodge I	330	100	15 Serangoon North Avenue 1 (閉鎖)*	12
32	Acacia Lodge	157	32	SSKBJV Dormitory	330	101	Tanah Merah Coast Road (閉鎖)*	12
33	SCM Tuas Lodge	144	33	10 Shaw Road	290	102	15 Kaki Bukit Road 4	11
34	32 Tuas View Square	142	34	Woodlands Lodge II	274	103	128 Tuas South Avenue 3	11
35	85 Kallang Dormitory	139	35	HSJV Dormitory	267	104	6 Tuas South Street 2	10
36	Kenyon/UBS *	132	36	The Jovell *	260	105	109 Tuas View Walk 1	10
37	The Leo dormitory	131	37	Kian Teck Hostel	258	106	23 Tech Park Crescent	9
38	Mustafa Centre **	129	38	31 Kranji Crescent	237	107	15A Senoko Way	9
39	Tech Park Crescent Dormitory	125	39	31 Sungei Kadut Avenue	232	108	212 Tagore Lane	9
40	Woodlands Dormitory	125	40	Blue Stars Dormitory	231	109	204 Tagore Lane	8
41	Jurong Apartments	120	41	SJ Dormitory	220	110	6 Battery Road (閉鎖)*	8
42	Joo Koon Lodge	109	42	2 Sungei Kadut Avenue	206	111	55 Sungei Kadut Loop (閉鎖)	7
43	Tampines Dormitory	100	43	Tampines Dormitory	204	112	52 Tech Park Crescent	7
44	Kranji Dormitory	92	44	21B Senoko Loop	199	113	12 Kwong Min Road	6
45	Westlite Woodlands	89	45	Tampines Street 62*	199	114	16 Tech Park Crescent	6
46	61 Senoko Drive dormitory	88	46	85 Kallang Dormitory	187	115	10 Kaki Bukit Road 1 #03-32	6
47	The Jovell *	88	47	36 Tuas View Square	176	116	216 Tagore Lane	6
48	11 Tuas Avenue 10	84	48	32 Tuas View Square	172	117	242 Woodlands Industrial Park E5	6
49	107 West Coast Vale *	83	49	61 Senoko Drive dormitory	166	118	18 Woodlands Industrial Park E1	5
50	Project Glory *	82	50	Joo Koon Lodge	164	119	Stirling Residences *	5
51	Tampines Street 62 *	79	51	1020 Tai Seng Avenue	162	120	15 Kaki Bukit Crescent	4
52	Lingjack Dormitory	69	52	11 Tuas Avenue 10	157	121	10 Tech Park Crescent	4
53	Melody Springs *	57	53	Jurong Apartments	149	122	63 Tuas South Avenue 1	4
54	10 Kian Teck Crescent Dormitory	54	54	Beyond Tuas South Boulevard	149	123	55 Genting Lane	4
55	Kian Teck Hostel	53	55	Kenyon/UBS*	148	124	Kampong Bugis * worksite	4
56	36 Tuas View Square	48	56	Tech Park Crescent Dormitory	141	125	6 Kian Teck Crescent	3
57	36 Woodlands Industrial Park E1 **	47	57	Clementi N2C3*	139	127	10 Tuas South Street 12	3
58	ASPRI Westlite-Papan	42	58	21 Tuas View Loop	138	128	109 Ubi Avenue 4	3
59	Westlite Juniper	39	59	107 West Coast Vale*	130			
60	Space @ Tuas Apartment	37	60	Mustafa Centre**	129			
61	40 Tuas View Square	36	61	Kranji Dormitory	111			
62	NUH renovation site	30	62	Melody Springs*	109			
63	8 Martin Place*	26	63	Lingjack Dormitory	89			
64	Blue Stars Dormitory	21	64	63 Senoko Drive	87			
65	Citiwall**	17	65	Project Glory (閉鎖)*	83			
66	15 Serangoon North Avenue 1 *	12	66	10 Kian Teck Crescent Dormitory	77			
67	Tanah Merah Coast Road *	12	67	53 Sungei Kadut Loop	77			
68	6 Battery Road (閉鎖)*	8	68	9 Sungei Kadut Street	75			
69	55 Sungei Kadut Loop (閉鎖)	7	69	9 Kian Teck Drive	71			

注：\*は建設現場，\*\*はクラスターリンク

出典：CNA (2020) *Explore The Map: COVID-19 Clusters in Dorms, Contraction Cites.* (Retrieved May 11 and June 26, 2020, <https://infographics.channelnewsasia.com/covid-19/singapore-map.html?cid=covid19-main-> より作成。

# COVID-19 Countermeasures and Migrant Workers' Situation in Singapore

OKAMOTO Sachiko

**Abstract:** This report is a reflection based on the control measures implemented during the COVID-19 pandemic outbreak in Singapore as of 2020. The early stage of successful containment, called the “Circuit Breaker,” was rated highly as “impeccable” by the western media. Nevertheless, the authorities were subsequently faced with an overwhelming occurrence of COVID-19 clusters in the migrant workers’ dormitories. The highly-educated Singaporeans are not likely to take up any low-paid job or physical work, which makes often them dependent on cheaper foreign labour. The pandemic has exposed the plight of such migrant workers and their abominable living conditions, which remains without any sign of improvement.